

視点を変えれば、夢実現への道がきっと見つかるはず…。

## 新大分土地株式会社

府内営業所: 大分市府内町1-6-19三浦ビル1F(サンサン通り)

TEL.097-536-2002 FAX.097-533-9081

本社: 大分市中央町1-5-25新大分ビル4F TEL.097-534-3371

E-mail: tochi@shinoita.com

<http://www.shinoita.com>

d,d style vol.1 平成15年8月発行 企画・編集:d,d project



視点を変えてまちを見つめると、いろんな可能性が見えてくる。

# d,d style

おおいたのまちを刺激するフリーマガジン VOL.1

## 特集: 府内町の緑





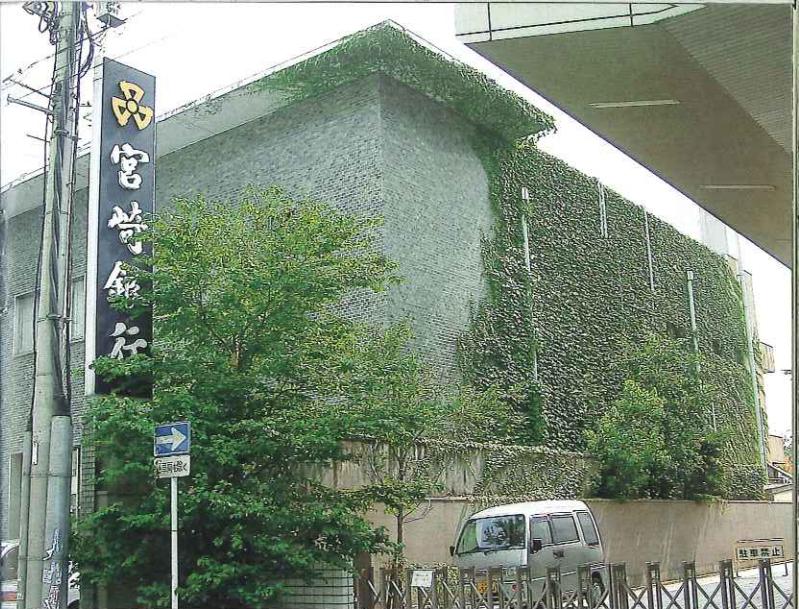
## 蔦がからまるビル。

府内 5 番街の裏通り。若竹園のビルの最上階から駐車場へと、降りそぞぐように生い茂る蔦。一体いつからここに茂るようになったのか。ビルの持ち主が建物に蔦を這わせようと考えたのはどんな理由からだったのか。そんなことをぼんやり考えながら、ビルを見上げていたら、一輪の赤い花を見つけた。無機質なビルの外壁とはあまりにも対象的な緑の葉と赤い花…。府内町には、この街ならではの独特なルールもあるというのだろうか。府内町にはここだけではなく、あちこちでビルと共に存する豊かな緑を目にすることができる。



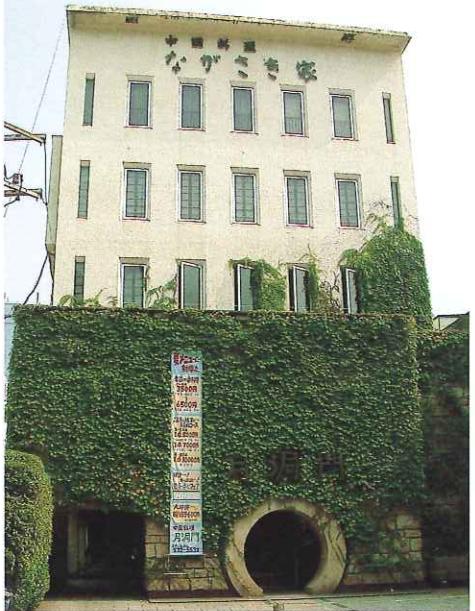
## 夏期限定の深緑建築物。

植物は二酸化炭素を吸収する。ビルのそばの樹木は、夏の日差しにさらされる建物の温度を高めない。なんて講釈を聞くまでもなく、見ているだけで緑は心をなごませる。そのビルで働く人、暮らす人だけでなく、通りすがりの見知らぬ人の心にも、さわやかさをプレゼントしている緑。特に夏の緑の輝きは、この季節だけのもの。深い緑に覆われた建築物は、とりわけ印象的だ。機能や効率ばかりが追及される都市のなかにあって、その対極にあるとも思える緑の存在は、想像以上に大きいのかもしれない。それにつけても、なぜ府内町にはこんな建物が多いのだろう。



市役所向かいの宮崎銀行大分支店。





## 自然と伝わる気持ちよさ。

さりげなく店頭にレイアウトされた緑の木々や草花。野山ならそれほど気にならない緑に、心をとめてしまうのはなぜだろう。それは緑を愛する人々のやさしい気持ちが、通りすがりの人にも伝わってくるからかもしれない。毎日の仕事のなかでほんの数分間、植物たちと交す無言の会話。それは本人でさえ意識していない水やりの時間であったり、わずかな雑草とりの一瞬のできごとのだろう。それでも、植物たちは、人の心のやさしさを確実に感じとっている。緑を育てる人の喜び。その心の豊かさが植物を通して、わたしたちに伝わってくるのだ。



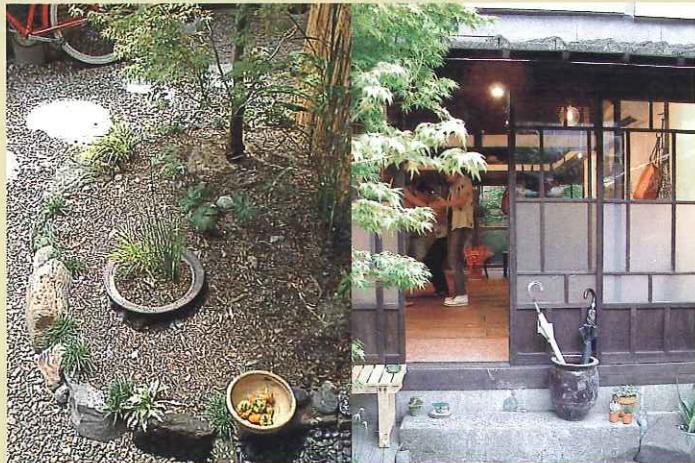
府内5番街の一本裏手の通りにある居酒屋「無一文」。



無造作に活けられたホティアオイがなんとも涼し気だ。



遊歩公園沿いの  
アクセサリー&カフェ「裏店」(うらだな)。



古い家屋をそのまま生かしたお店づくり。  
ありのままの表情が歴史を感じさせる。



コンバルホール横の路地を入ったところにある  
コーヒー専門店「ばんぢろ」。



店内からは裏庭が見える。ここだけ時間がとまってしまったかのような、  
のどかな雰囲気を庭が強調している。



## 珈琲を愉しむ店「ばんぢろ」の"緑"

訪れる時間帯がちょうどその時分なのだろうか、店主が水やりをしている姿をよく目にする。珈琲の味はいうまでもないが、この店の魅力は裏庭だ。「自分が田舎の出身だから、緑は生活していく上でないと困るもの。あって当然のもの」と、店主は言う。思うがままに植えられた植物たちがより自然に感じられて、眺めていると心が落ち着く。「花が咲き、枯れて、そしてまた咲く、そのくりかえしをずっと見つづけることも嬉しい。」という言葉が、心のゆとりを感じさせた。店主が心地いいと感じる空間。その空間に共感できる人々が今日も「ばんぢろ」に足を運ぶ。

